



日本ブラインドマラソン協会

JBMA 会報

発行所

認定特定非営利活動法人 日本ブラインドマラソン協会
〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9番8号 本郷朝風ビル5F
ホームページ：<http://www.jbma.or.jp/>
TEL/FAX：03-3814-3229 E-mail：info@jbma.or.jp
発行責任者：澤木 啓祐 / 編集責任：事務局

2020 東京パラリンピックマラソン代表選考大会 北海道マラソン終わる！

東京パラ推薦選手



推薦1位

堀越 信司
ホリコシ タダシ

所属：NTT西日本
ベストタイム：2:25:56
2019WPAマラソン
世界選手権



推薦1位

道下 美里
ミチシタ ミサト

所属：三井住友海上
ベストタイム：2:56:14
2017年 防府読売マラソン



推薦2位

熊谷 豊
クマガイ ユタカ

所属：三井住友海上
ベストタイム：2:27:35
2017年福岡国際マラソン



推薦2位

西島 美保子
ニシジマ ミホコ

所属：福井楽障クラブ
ベストタイム：3:11:33
2003年大阪国際女子マラソン

4名の代表推薦候補選手が確定

8月25日に開催された北海道マラソン2019の結果、熊谷選手（視覚障がい者男子の部第2位、代表選考対象選手第1位・三井住友海上）及び西島美保子選手（視覚障がい者女子の部第2位、代表選考対象選手第1位・福井楽障クラブ）が2020東京パラリンピックマラソン代表選手選考規程に則り推薦順位第2位を獲得しました。これにより、今年4月に開催されたロンドン世界選手権で、既に推薦選手第1位となった、堀越信司選手（NTT西日本）、道下美里選手（三井住友海上）を加え、推薦選手上位4名が確定しました。今後は、明年2月2日に開催される最終選考レース「別府大分毎日マラソン大会」の結果で推薦順位第3位までの男女6名の代表推薦選手が確定します。

北海道マラソン報告

札幌大通り公園発着の「北海道マラソン2019」が8月25日に開催されました。

2020東京パラリンピック視覚障がいマラソンの代表選手選考レースとなるこの大会は、約一万八千人が参加し、気温18度、ときおり小雨が降るといふ夏マラソンとしては大変涼しい気象条件の中でのスタートとなりました。

既に推薦第1位が確定している堀越・道下両選手が、順調な仕上がりをみせ、男女各集団をリードするレースで始まり、この2選手を除く男女18名の選手が、推薦第2位を競い合う展開となりました。

男子の部は熊谷選手が前半から自己記録を上回るペースで先行し、ベテランの岡村正広選手やT13クラスで代表選考対象外の高井俊治選手が追いかける、手に汗を握る展開となりました。

30キロを越えて、徐々にペースダウンしてきた熊谷選手に対し、常にイーブンペースを保って追従していた高井選手が追い上げ、35キロ過ぎで熊谷選手を逆転、2時間30分57秒の自己新記録（T13クラスアジア新記録）で見事優勝。推薦第2位を巡っては熊谷選手が2時間32分20秒で逃げ切つて、代表推薦選手2位を獲得しました。

また、第3位にはラストで猛然と追い上げてきた和田伸也選手が自己新記録の2時間33分49秒（T11クラスアジア新記録）、2時間33分56秒の僅差で岡村選手が4位に続きました。

女子は独走で1位を先行する道下選手に続き、代表推薦を目指す西島美保子選手と青木洋子選手が30キロでは、ほぼ同タイムで並ぶというマッチレースの様相となりました。終盤、30キロを過ぎて青木選手に疲れが見え始め、徐々に西島選手がリードを広げ、優勝の道下選手（3時間09分57秒）に次ぎ、西島選手が3時間15分28秒で2位となり代表推薦選手第2位を獲得、青木選手は3時間17分52秒で3位という結果となりました。（2ページへ続く）

北海道マラソンの上位選手コメント

男子1位 高井俊治選手

今回の北海道マラソンは東京2020パラマラソンの代表選考会というレースの中、今年スピードに磨きをかけて挑み2時間30分を切ると言う目標で私は参加させて頂きました。コンディションも近年の北海道マラソンでは一番良くこれも過去積み重ねてきた実績が生きました。結果は、全体の一着でゴールでき、自己ベスト更新することができました。普段の小さな積み重ねが結果として表現出来たこと、改めて自信と確信が増したレースになりました。沢山のご声援ありがとうございました。

男子2位 熊谷豊選手

今回の北海道マラソンは、東京2020パラマラソンの推薦者第2位を決める大会であり、とても重要な大会でした。結果はT11・T12の1位でした。推薦者第2位に選ばれたことを嬉しく思っております。まだまだ改善点があるため、2月の別府大分毎日マラソンへ向け調整していきます。

女子1位 道下美里選手

自身のコンディションを把握し設定したペースで走ることが目標のレースでした。ココロ変わる天候でペースを刻むのは難しいレースでしたが、アームカバーやかけ水などで体温調整をし想定どおりのタイムでかえってくることができました。この経験を生かし次回のレースは自己記録更新をめざし走りたいと思います。応援ありがとうございます！

女子2位 西島美保子選手

いつも暖かい声援ありがとうございます。今回は暑さの中で走る絶好のチャンスでその中でどんな走りができるか試されるレースでした。合宿にも積極的に参加して距離走を何度も行い 身体作りをしてきました。そのおかげでお天気の変化もそれほど気にならず 後半の落ち込みも少なく思ったレースができました。一人ではなかなか難しい練習も仲間力を借りれば頑張れるということだと思います。東京まで1年、ワンランク上を目指して頑張りたいと思います。

北海道マラソン結果一覧

IPC男子				
1位	2:30:54	高井 俊治	T13 D2C	T13クラス アジア新
2位	2:32:20	熊谷 豊	T12 三井住友海上	
3位	2:33:49	和田 伸也 <伴走>長谷部 匠・中田 崇志	T11 長瀬産業	T11クラス アジア新

(参考 4位 2:36:56 岡村正広 T12)

IPC女子				
1位	3:09:57	道下 美里 <伴走> 青山 由佳・志田 淳	T12 三井住友海上	
2位	3:15:28	西島 美保子 <伴走> 溝渕 学・鍵 修一	T12 福井市陸協	
3位	3:17:52	青木 洋子 <伴走> 奥村 直樹・高田 裕之	T12 NTTクラリティ	

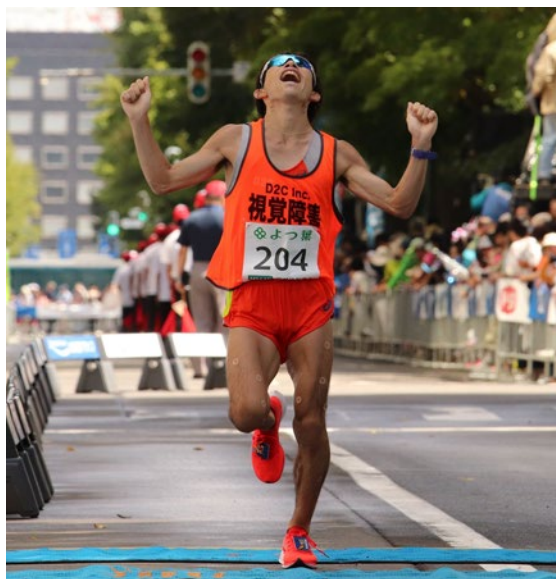
一般視覚障がい男子				
1位	3:12:02	鈴木 卓 <伴走> 小林 逸郎・久村 幸己	B2 ダムズ新潟	
2位	3:12:56	小林 丈二 <伴走> 長井 和樹・富居 潤一	B1 白川走友会	
3位	3:14:55	武川 泰幸	B3 更別村走ろう会	

一般視覚障がい女子				
1位	3:55:12	鹿沼 由理恵	B2 東京都	

参考：マラソン世界選手権 上位3位までを掲載 (2019.4.28 ロンドン)

男子				
1位	2:21:23	Chentouf El Amin	T12 モロッコ	T12クラス 世界新
2位	2:25:50	Laso Alberto Suarez	T12 スペイン	
3位	2:25:56	堀越 信司	T12 日本	T12クラスアジア新 自己新

女子				
1位	3:06:18	道下 美里 <伴走> 青山 由佳・志田 淳	T12 日本	
2位	3:13:17	Santos Dorta Edneusa de Jesus Antonia Keyla da Silva Barros	T12 ブラジル	
3位	3:18:11	En-Nourhi Meryem	T12 モロッコ	



IPC男子 優勝の高井選手

行事報告

2019年度伴走者養成研修会 (第1回東京会場)

7月28日(日)、9時〜12時
 全国障害者総合福祉センター(戸山サンライズ・新宿区)において開催。

講師: 原田清生・鈴木邦雄 両協会常務理事

内容: 講義(伴走理論・伴走規則)

実技(伴走の基本動作・アイマスク体験)

参加者: 受講者・視覚障がい協力者 計27名、
 スタッフ6名

研修は、台風による悪天候が予想され、当日の欠席者があったものの、伴走理論と伴走規則に関するきめ細かい講義、映像を用いたビジュアルな解説が参加者の理解を深めた。

体育館では、アイマスクを活用した視覚障がい体験や、5人の視覚障がい協力者との実践的な伴走体験を通して、受講者への貴重な機会として好評であった。



各地での伴走者養成研修会

長野県・長野市篠ノ井

5月25日(土) 13時〜15時

主催: 長野県視覚障がい者マラソン協会

会場: 南長野運動公園

講師: 鈴木邦雄・久保光法

受講者: 25名(含視覚障がい協力者3名)

実施内容: 講義(視覚障がい者の障がいの特性、伴走理論、伴走規則)

実技(介助の体験・アイマスク体験・障がい者とのペアラン体験)

長野視覚障がい者マラソン協会の創立20周年記念イベントとして、「伴走講習会」と「24時間リレーマラソン」が2日間に亘って開催された。

大会前に、伴走の基本理論を学び、実際の伴走体験を経てのレース参加と、計画が良く工夫された運営であった。また、5月とは言い記録的な猛暑の中でのイベント開催でしたが皆さん、モチベーションとコンディション維持に留意し、記念イベントとして大成功の裡に終了した。



鳥取県・米子市

6月8日(土) 9時30分〜12時30分

主催: 白うさぎB&G、

(一社) 鳥取県障がい者スポーツ協会

会場: 米子サン・アビリティーズ・体育館、研修室

講師: 鈴木邦雄

実施内容: 講義(視覚障がい者の障がいの特性、伴走理論、伴走規則)

実技(介助の体験、アイマスク体験、伴走・歩歩体験)

参加者: 51名(内視覚障がい協力者10名)

鳥取では、昨年に次いで3回目の開催となり、主催者の努力で参加者の8割が初めての体験という状況での実施となった。終始全員素敵な笑顔と充実感を持って進められた。参加者からは、「もつと学びたい」、「次回はいつあるのですか」といった声も多く聞かれた。今回は会場を県西部で初の開催で、昨年の東部に続き、県中部での開催が希望されている。



福島県・会津若松市

7月21日(日) 9時30分〜11時30分

主催：社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会
会場：会津大学、講義室・グラウンド
講師：鈴木邦雄・久保光法

参加者：35名(含視覚障がい協力者4名)

実施内容：講義(視覚障がいの介助の基本、伴走初心者への基礎知識、伴走の理論、伴走のビデオによる解説)

実技(介助の基本・注意点を説明、その後参加者による実践、伴走デモンストラーション、アイマスク体験)

福島県では昨年に引き続き開催、会津若松市ボランティア学園「一緒に走ろう!歩こう!」の名称で伴走・伴歩の体験研修として開催された。

参加者からは、「視覚障がいで困っている人がいたらお手伝いしたい」、「サポートの仕方を理解できた」といった声が多く寄せられた。



以上、報告の4研修会は、日本財団パラリンピックサポートセンターの助成を受けて開催しました。

今後の行事予定

協会主催の2大イベント参加募集中です!

協会の歴史を重ねるこの大会の成功を期して、友人・知人にもお声掛けいただき、多くのご参加をお待ちしています。

10月4日エントリー締切

OSAKA EKIDEN in 長居兼 第22回視覚障がい者駅伝大会

日時：2019年11月4日(月・振休)

会場：ヤンマースタジアム長居および長居公園内周回コース
種目：視覚障がいの部、一般の部、一般男女混成の部
区間：4区間(20km)

大会HP：<http://www.osaka-ekiden.jp>

特色：今年も増田明美さん、中山竹通さんをはじめ、多くのオリンピアン・パラリンピアンをゲストに迎え、参加ランナーが楽しくレースを競う、ノーマライゼーションを体感する大会です。

10月28日エントリー締切

神宮外苑チャレンジフェスティバル J BMAユニファイドラン

日時：2019年12月8日(日)

会場：明治神宮野球場および神宮外苑周回道路
種目：10kmラン、5kmラン、5kmウォーク
(視覚障がいの部、知的障がいの部、一般の部)

大会HP：<http://jbma-roadrace.com/>

特色：今年も神宮球場内を発着、ゲストはアテネオリンピッククマロン7位入賞の坂本直子さん他、多彩なゲストを予定しています。新設の国立競技場や、銀杏並木、近々改築となる神宮球場など、記憶に残したい景観の中で、ランナーが楽しくレースを競う、ノーマライゼーション実践の大会です。

第29回福知山マラソン

日時：2019年11月23日(土) 10:30スタート

前日(11月22日) 伴走研修会が予定されています。

お問い合わせ：大会ホームページをご覧ください。

<http://fukuchiyama-marathon.com/>

2019年度伴走者養成研修・視覚障がい者マラソン研修

日時：2019年9月14・15日(土・日)

会場：つま恋リゾート 彩の郷(掛川市満水2000) 参加費：8千円(泊・3食)

特色：視覚障がい者の方も、伴走ボランティアを目指す方も、恵まれた会場で、2日間ゆったりと基礎を学べる研修会です。また参加者の交流も楽しみの一つです。

編集後記

2019年度は、5月に令和元年への改元を迎え、真に新時代への幕開けとなりました。5月には定例社員総会、定例理事会が開催され、各事業計画が承認されました。

明年暑熱下の東京コースを走るパラリンピックで、前回のリオデジャネイロ大会を上回る結果を目指し着々と準備を進める強化事業、また、37回の歴史を重ねる12月8日開催の「神宮外苑ユニファイドラン」および11月4日開催の大阪長居での「第22回全国視覚障がい者駅伝大会」などの大会開催事業を着実に実践し、かつ成功裡に終えるよう万全を期さなければなりません。

そのためには、会員の皆さん一人一人が主役になって当協会を支えていただき、同時に「ブラインドマラソン・ウォーク」という障がい者スポーツに理解と関心を寄せていただける賛同者の開拓や、支援の輪を広げる取り組みにも積極的にご尽力をお願い致します。

終わりに、2019年度が会員の皆さまにも、協会にとっても多くの成果をもって終えられる一年にするべく、後半の重要な事業活動への皆様のご支援を重ねてお願いし本号の編集を終えます。